

# 住環境領域の価値創造ストーリー



戸建て住宅からビル・マンション、都市空間まで  
快適で衛生的な暮らしと、建物の資産価値を次世代へつなぐ。

住宅の木材の腐朽やシロアリの被害、ビル・マンションの給排水管の劣化など、目に見えないところに、大切な建物の寿命を縮める要因が潜んでいます。

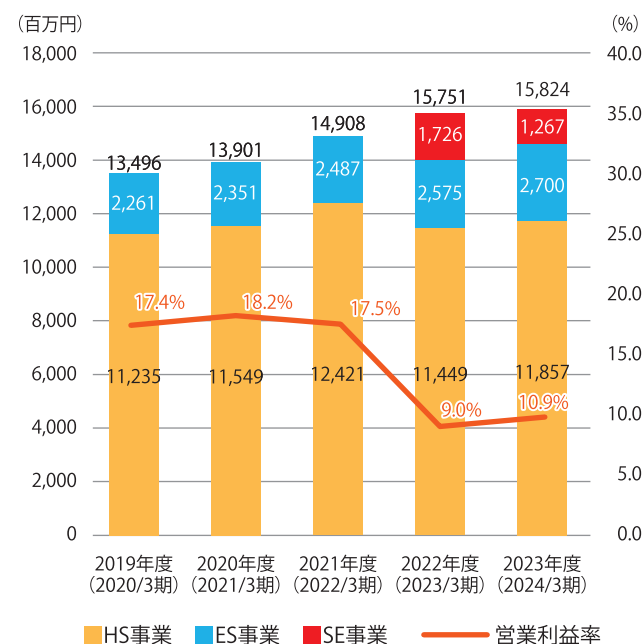
サニックスグループでは、「予防医学（未然に防ぐという思想）」の見地から、トータルメンテナンスを推進。さらには、太陽光発電やリフォーム、都市空間の衛生管理まで、世代を超えて受け継がれる、快適で衛生的な暮らしを実現します。

## 住環境領域実績

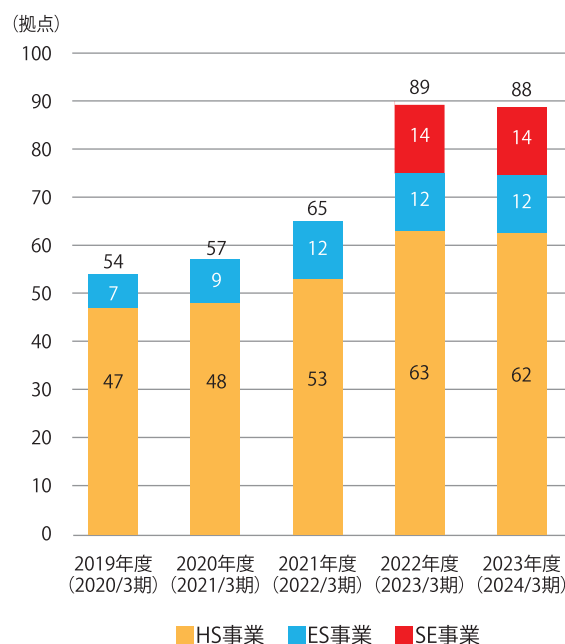
(単位: 百万円)

	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期)	2021年度 (2022年3月期)	2022年度 (2023年3月期)	2023年度 (2024年3月期)
売上高	13,496	13,901	14,908	15,751	15,824
売上総利益	7,935	8,362	8,995	8,822	8,867
(売上高総利益率)	58.8%	60.2%	60.3%	56.0%	56.0%
営業利益	2,343	2,525	2,609	1,421	1,724
(売上高営業利益率)	17.4%	18.2%	17.5%	9.0%	10.9%

## セグメント別売上高・営業利益



## セグメント別 営業拠点数



## 主な商品・サービス

### ■ ホーム・サニテーション(H S)事業

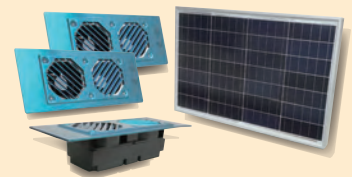
#### シロアリ防除システム

シロアリの習性を熟知したスタッフが、予防から駆除まで、適切に対処。豊富な経験と実績で培われた専門技術とノウハウ、万全のアフターサービスにより、大切なマイホームをシロアリの被害から守ります。



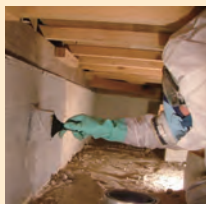
#### 床下・天井裏換気システム

太陽光を利用した床下・天井裏換気扇が、床下・天井裏の湿気を追い出し、風の通り道をつくります。換気効果を高める拡散ファンや床下調湿材もとりそろえ、心地よい暮らしを実現するとともに、住まいの耐久性を高めます。商用電源タイプも。



#### 基礎補修工事

基礎コンクリート表面に、アラミド繊維シートを樹脂で貼り付け、繊維強化プラスチック(FRP)を形成することで、基礎のひび割れを補修するとともに、劣化進行の抑制に寄与します。



#### 家屋補強システム

床下、天井裏の主要結合部を金物で補強することにより、家屋の耐震性・耐久性を向上させるサンニクス独自のシステム。大掛かりな外壁工事を行わず、工期短縮を実現しました。



#### 住宅リフォーム

水周りの改善やバリアフリー化、外壁・屋根・クロス等のリフレッシュ、耐震改修工事など、ライフスタイルやご要望に合わせた快適リフォームをご提供します。

### ■ エスタブリッシュメント・サニテーション(E S)事業

#### 給排水設備の保全対策

給排水設備メンテナンスの効率的・一元管理を実践。主力商品である防錆装置などにより、配管内のサビの発生・進行抑制による配管の長寿命化や、スケール・油污れの除去・付着抑制によるトラブルの解決を図ります。

マイナス帯電水生成装置(防錆装置)



内視鏡による給排水管内部の検査

#### 有害生物の防除

高度な専門技術により、ゴキブリやダニ、ハエ、カ、ネズミなどの害虫・害獣防除、害鳥侵入防止施工を行い、病原菌の媒体となる有害生物をシャットアウトします。



害虫防除施工

#### HACCPに沿った衛生管理サポート

飲食店や食品工場など、食品を扱う事業者には、HACCP(衛生管理手法)に沿った衛生管理が義務付けられています。専門的視点で、衛生管理計画の作成から運用までサポート。定期的な衛生点検および、その結果に基づく改善指導も行います。



ATP拭き取り検査(清浄度の確認)

#### ビル・マンションのメンテナンス

水回りの衛生管理、屋上の防水処理、外壁の塗装・洗浄・補修など、トータルに管理します。



Before

After

### ■ ソーラー・エンジニアリング(S E)事業

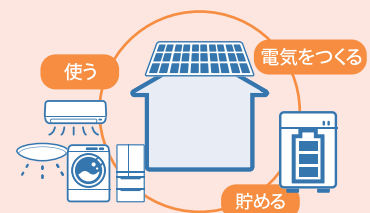
#### 住宅用太陽光発電システム

太陽光発電の普及を目指して、できるだけ価格を抑えて提供し、環境にも家計にも優しい生活を実現します。



#### 蓄電システム

自家消費型太陽光発電のニーズが高まるなか、蓄電池の導入による電気の柔軟な使い方をご提案しています。





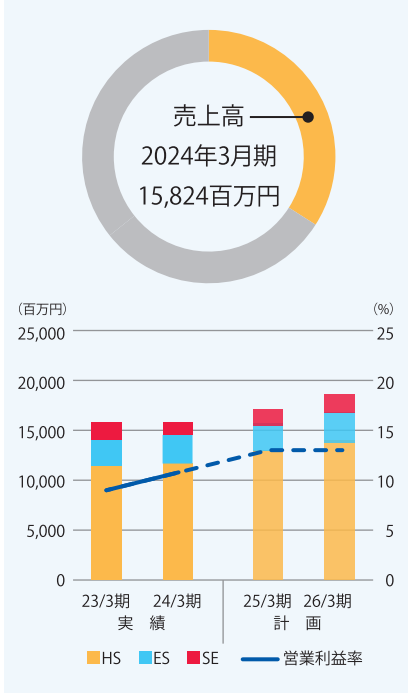
## 住環境領域の価値創造ストーリー (成長戦略)

法人営業 (業務提携先の開拓) 体制の強化

- ・提携先拡大による新規顧客チャネルの拡充と営業生産性の向上
- ・人員確保と育成強化による営業力・サービス品質の向上

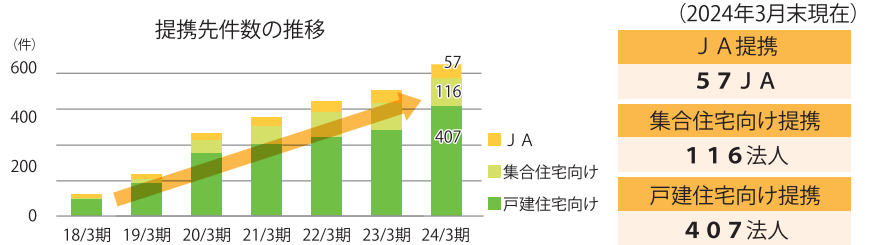
### <セグメント別 中期経営計画>

(単位: 百万円)



	2023/3期実績	2024/3期実績	2025/3期計画	2026/3期計画
連結売上高	15,751	15,824	17,704	18,600
HS	11,449	11,857	13,318	14,000
ES	2,575	2,700	2,800	3,000
SE	1,726	1,267	1,586	1,600
連結営業利益	1,421	1,724	2,379	2,500

- 2026年3月期の売上高は、2023年3月期に対して28億円増加し、186億円となる。
- 営業利益は、人員増加によって人件費等は増加するが、生産性の向上による利益率改善によって25億円を見込む。
- 人員数は3年間で約170名増加し、1,200名超を見込む。



### <当社の強みと外部環境>

#### <当社の強み>

- お客様との継続的な取引関係をベースとした安定的な収益基盤
- 高い営業力と施工技術力を併せ持つ人員体制
- 地域に根差した営業拠点網

#### <外部環境>

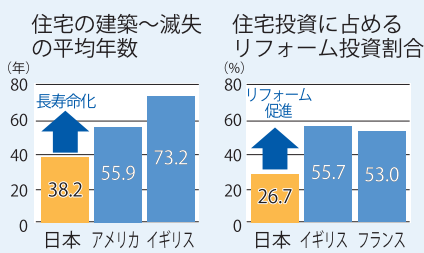
- 良質な住宅ストックを形成し、住宅リフォームや既存住宅流通等の住宅ストック活用を重視する政府方針へ
- コロナ禍を経て生まれた住宅メンテナンス・衛生環境に関する需要の拡大
- 電気料金の高騰、環境意識の高まりから住宅用太陽光ニーズ拡大

### 住宅政策の動向

住宅総数: 約6,500万戸 内、木造一戸建: 約3,000万戸 (空き家含む)

- 人口減少等を背景に新築着工件数は縮小していく見通しである中、既存の住宅を良質化し、**既存住宅の活用を重視する方針**に転換
- 加えて、脱炭素の観点から**省エネルギー化**を進める方針

#### 既存住宅の活用



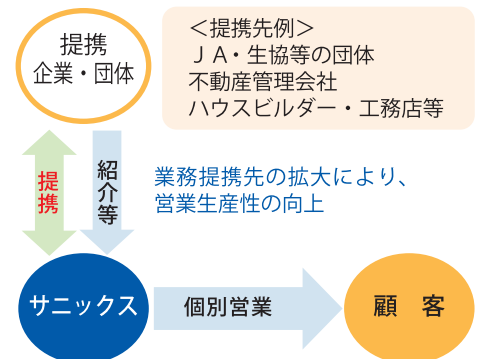
#### 脱炭素化の推進 (省エネルギー化)

- ▶ 太陽光発電
- ▶ 蓄電池
- ▶ 断熱性能向上 (窓・断熱材等)

義務化の流れ、支援(補助金)制度の拡充等により新築・既築ともに市場活性化

### 法人営業の強化

これまでの個別訪問の営業スタイル強化に加え、**法人営業体制を拡充**し、営業の間口を広げるとともに、多様なニーズへの対応を図る。



## お客様のお声

祖業であるHS事業（戸建住宅向けサービス）では、1975年の創業以来、80万軒を越すお客様のお家のシロアリ防除をさせていただいています。シロアリ消毒の保証期間中（5年間）には、年1回の定期点検を実施し、安心感のお届けに努めています。

定期点検やシロアリ消毒等に対する、お客様のご意見の一部をご紹介します（順不同）。多くのお客様に支えられていることに感謝し、これからもご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。



### 画像で、我が家の現状がよくわかりました

ていねいにすみずみまで画像を撮られて説明を受けましたが、とても感動しました。とにかく画像の説明がていねいでした。我が家の現状も良くわかりましたし良かったと思います。 山口県 U様(2024年6月)

### 水漏れも発見できて助かりました

今日点検して頂いたお蔭様で床下の水漏れまで発見でき、本当に助かりました。隅々まで点検して頂きありがとうございました。 鹿児島県 T様(2024年3月)

### マナー、説明、すべてに満足

つくづくサニックス社のすばらしさを再認識させていただきました。マナーといい、報告書の説明といい、すべてに満足しました。今後ともよろしくお願い致します。 長崎県 K様(2024年2月)

### 誠実な姿勢に感心

誠実で終始一貫した姿勢にいつも感心させられます。ありがとうございました。今後ともこのような社員の方が安心して働けるような環境づくりをお願いします。 岡山県 H様(2024年1月)

### シロアリ予防をお願いする時はサニックスさんに

とても丁寧に見ていただきました。床下のゴミまで拾って頂きました。点検後も契約を強くすすめる事もなく、家族とどうするか相談する時間を持てたと思います。今すぐ契約する事ができませんが、シロアリ予防を今後お願いする時はサニックスさんにしようと思います。点検していただきありがとうございました。 福岡県 T様(2024年1月)

### 心のこもった商売を次の世代まで

社員の皆様のご親切大変よく、こんな会社あるのかと思いました。世の中も昭和の時代からずっと変わって来ましたが、心のこもったご商売を次の世代まで続けて頂きたいです。ありがとうございました。 岐阜県 S様(2023年10月)

### 業者選びに悩んでいる方に紹介できます

白ありに悩んでいても悪い業者にだまされるのが心配で一歩ふみ出せないでいましたが、そういう悩みを持っている方にも紹介できます。これから5年間点検に来て下さると言う事でひと安心です。これからもサニックスさん応援しています。ありがとうございました。 宮崎県 T様(2023年12月)

### 点検にも説明にも満足

丁寧な点検作業で感心致しました。状況説明にも満足致しました。 滋賀県 O様(2023年12月)

### 教育が行き届いているのを感じました

お世話になりました。施工に来てくださった社員さん達皆様の教育が行き届いているのを感じました。挨拶がしっかりと出来ていて受け答えが爽やかでした。頑張っ

て欲しいですね。あと快適に過ごせるか楽しみです。 香川県 T様(2023年9月)

### 安心度100%

工事の説明及び作業と作業後の説明もわかりやすく話をしてもらい大変安心しました。サニックス様の安心度は100%です。これからも相談しやすいですの

でよろしくお願ひ致します。ありがとうございました。 茨城県 Y様(2024年4月)

### わかりやすく教えていただけました

床下の状況や、シロアリが入ってしまった際の大変さをとても分かりやすく教えていただけました。暑い中、本当にありがとうございました。また1年後の点検でお世話になります。 広島県 U様(2023年8月)

# エネルギー領域の価値創造ストーリー



**確かな技術と積み上げてきた実績、  
太陽光発電の調達から、販売、施工、メンテナンスまで、  
トータルサービスで、エネルギー新時代を支える。**

脱炭素への取り組みは、いまや人類全員の共通課題です。日本においても、2050年カーボンニュートラル宣言以降、その流れは加速しています。

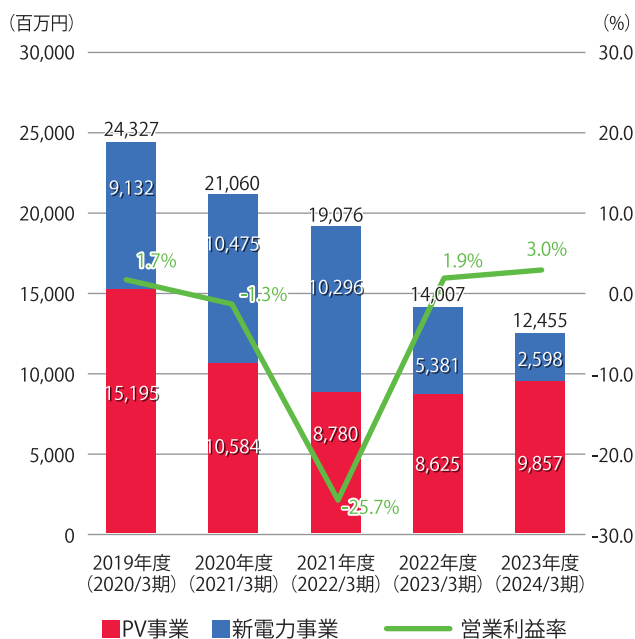
私たちは、お客様のニーズに合わせて、最適な太陽光発電システムのかたちをご提案。導入からメンテナンスまで、環境経営の推進をサポートするとともに、再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

## ■ エネルギー領域実績

(単位:百万円)

	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期)	2021年度 (2022年3月期)	2022年度 (2023年3月期)	2023年度 (2024年3月期)
売上高	24,327	21,060	19,076	14,007	12,455
売上総利益	4,236	3,252	△1,859	2,348	2,450
(売上高総利益率)	17.4%	15.4%	△9.7%	16.8%	19.7%
営業利益	416	△279	△4,908	261	377
(売上高営業利益率)	1.7%	△1.3%	△25.7%	1.9%	3.0%

## ■ セグメント別売上高・営業利益



## 主な商品・サービス

### ■ PV (法人向け太陽光発電) 事業

#### 太陽光発電システム

工場の屋根やビルの屋上等の有効利用を促進。自家消費型システムを中心に、太陽光発電による資産管理、コスト(電気代)削減、災害対策、環境経営をお手伝い。ご提案から設計、施工、アフターメンテナンスまで、トータルに提供します。



### ■ 新電力事業

#### 電力小売

2001年に特定規模電気事業者(電力小売)として登録し、2015年に経済産業省に登録小売電気事業者として登録(登録番号:A0057)。太陽光発電事業と電力販売は親和性が高く、シナジー効果で、幅広いサービスの提供を可能にします。



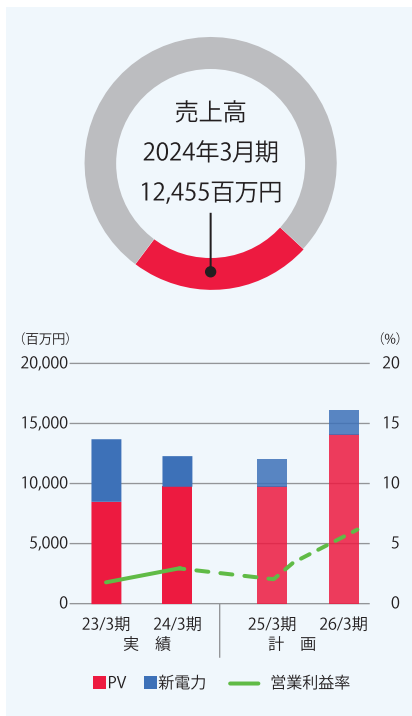
## エネルギー領域の価値創造ストーリー (成長戦略)

非FITモデルへの完全移行

- ・脱炭素の取り組みを強化する企業・自治体向けに、自家消費型太陽光の提案体制強化・エリア拡大
- ・再エネ電力を供給するエネルギー事業者向けに、再エネ電源としての太陽光発電所開発を推進

<セグメント別 中期経営計画>

(単位:百万円)



	2023/3期実績	2024/3期実績	2025/3期計画	2026/3期計画
連結売上高	14,007	12,455	12,320	16,000
PV	8,625	9,857	9,884	14,000
新電力	5,381	2,598	2,436	2,000
連結営業利益	261	377	252	1,000

- 2026年3月期の売上高は、脱炭素ニーズの拡大を背景としたPV事業の成長により、160億円を見込む。
- 新電力事業は事業構造の転換が完了し、売上規模はほぼ半分に。
- 営業利益は、2024年3月期まで材料費等の高騰の影響が大きいものの、徐々に利益率が改善。

脱炭素社会の実現に向けて、多くのお客様へ自家消費型太陽光発電設備を導入 (下記はその一部)



<当社の強みと外部環境>

<当社の強み>

- 太陽光発電システムの調達・販売・施工からメンテナンスまでの一貫したサービス提供能力
- 電力の知見を活用した最適な自家消費提案能力
- 豊富な有資格者、技術者による高い施工品質
- 約29,000件に及ぶ事業用太陽光発電所建設実績

<外部環境>

- 電力料金の高騰と太陽光発電設備のコストダウンによる設備導入効果の向上
- 再生可能エネルギー需要の顕在化に伴い、電力事業者等の再エネ電源ニーズの高まり
- 企業におけるGHG排出量削減や、地域でのゼロカーボンシティに向けた取り組みが本格化

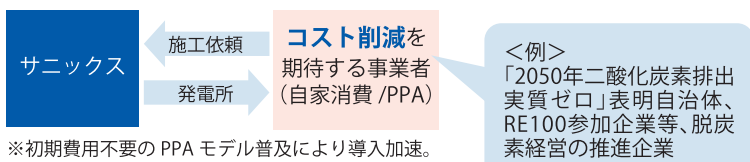
### FIT制度を前提とした従来モデル

サンニクス	施工依頼 発電所	売電収益を 期待する投資家
システム容量	FIT 価格	
2012年度 10kW 以上	40 円 /kWh	
2013年度 10kW 以上	36 円 /kWh	
2022年度 10kW 以上 50kW 未満 50kW 以上	11 円 /kWh 10 円 /kWh	
2023年度 10kW 以上 50kW 未満 50kW 以上	10 円 /kWh 9.5 円 /kWh	
2024年度 10kW 以上 50kW 未満 50kW 以上	10 円 /kWh 9.2 円 /kWh	

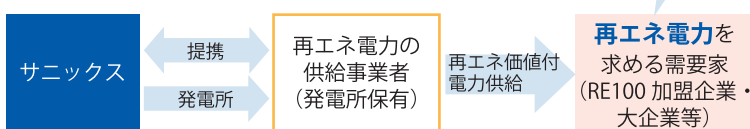
※買取価格の下落とともに FIT の魅力が大きく低下。

### FIT制度によらない新しい普及モデル

▶オンサイト型太陽光発電モデル(屋根設置)



▶オフサイト型太陽光発電モデル(土地設置)



※再エネ電力需要が顕在化し、電源としての太陽光発電所の導入加速。

非FITモデルへの完全移行



## 主な商品・サービス

### ■ 環境資源開発事業

#### 廃プラスチックの燃料化

産業廃棄物系プラスチックの燃料化を目的とした工場を全国各地に15工場展開しています(プラスチック資源開発工場)。大きさや形がさまざまな廃プラスチックを細かく破碎することにより、石油・石炭などの代替燃料として活用するサーマルリサイクルを推進します。



プラスチック資源開発工場

#### 廃液の処理・リサイクル

外食産業の店舗や食品工場、その他雑廃水ピットなどから排出される廃液を一度に大量に受け入れられる体制を整えており、船舶での受け入れも可能です。廃液を一連の水処理工程にかけることにより、高濃度の汚濁成分を99%以上除去する能力を有しています。また廃液に含まれる油分や汚泥の再生・再利用も推進しています。



ひびき工場(廃液処理工場)

#### 資源循環型発電システム

プラスチック資源開発工場にて加工、燃料化したプラスチックを発電施設のエネルギーとして利用する資源循環型発電システム(下図参照)。石炭と比べて発熱量が高く、CO<sub>2</sub>排出量や焼却灰発生量が少ないなど、環境負荷も少なく、付加価値が高い電気エネルギーの供給が可能です。非化石電源として非化石証書も発行されます。



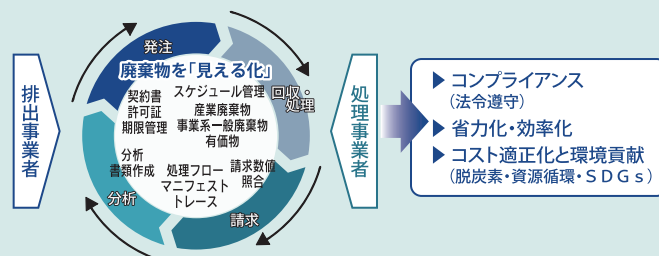
サンックスエネルギー 苫小牧発電所



最終処分場(株式会社C&R)

#### 廃棄業務一元管理システム

廃棄業務を「見える化」するシステムの提供により、適正で効率的な業務遂行をサポート。排出事業者向け、収集運搬業者向け、中間処理業者向けの3システムをラインナップしています。



システムの概要図(排出事業者向け)

### ~廃プラスチックの回収・燃料化から発電まで~ 資源循環型発電システム

廃プラスチックの有効利用を促進し、  
循環型社会の構築に貢献します。

化石燃料の消費を抑制

CO<sub>2</sub>フリー電力による脱炭素社会への貢献

最終処分場の残余年数を延ばす



廃プラスチック  
発生元より回収・運搬



資源開発工場にて  
破碎

回収した廃プラスチックを確認。150mm以下に破碎します。

※徹底した管理体制で、有毒なダイオキシンを発生させる塩化ビニールを含むものと、燃料となるプラスチックを分別します。



梱包・ラッピング

破碎したプラスチックを圧縮、梱包しラッピングします。



ストックヤードへ  
燃料を運搬

プラスチック燃料を、ストックヤードへ運びます。

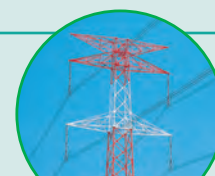


ストックヤードで  
一時保管



発電所にて整粒加工

30mm程度に整粒加工し発電用の燃料となります。



送電

プラスチック燃料1kgが、電球(60W)1個を約40時間点灯させる電気になります。



エネルギーを生成

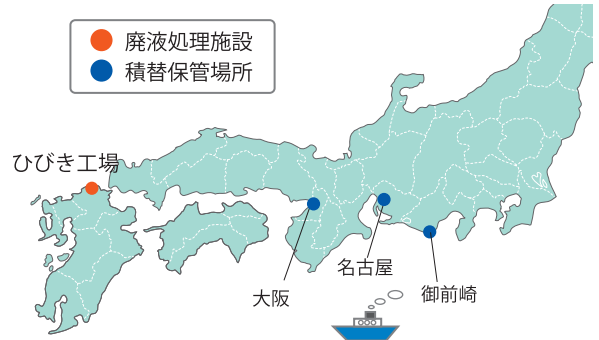
ボイラーに投入し発生した高温高圧の蒸気で蒸気タービンを回転させ発電します。



## 微生物などによる廃液浄化処理、油分や汚泥のリサイクルも

資源循環型発電事業（プラスチックの燃料化および当該燃料による発電）と並ぶ、もう一つの資源循環事業として、廃液の浄化処理に取り組んでいます。

廃液処理工場、ひびき工場（福岡県北九州市/2000年稼働開始）は、廃液のみを処理する施設として、国内で最大規模。食品工場から排出される有機廃液や、その他工場から排出される無機廃液などを、1日あたり1,300m<sup>3</sup>処理できます。船舶による大量受け入れ、貯留タンク4,800m<sup>3</sup>による短期間での受け入れに対応しています。



※船舶と積替保管は、弊社の協力会社が行っています。

## 廃棄物由来燃料「再生油B i o」の製造ラインを増設

資源循環型社会の実現を加速するために、廃液から油分を分離した、再生油（製品名：再生油B i o）を製造・販売しています。

ニーズの高まりを受け、製造ラインをこれまでの2倍に増設しました（2024年3月）。

**製造能力 2,160t/年 ▶ 4,320t/年へ**

### ▶ 再生油B i o

外食チェーン等の飲食店から発生する廃水や汚泥などの産業廃棄物から、ゴミや汚泥分を除去し、油分のみを分離回収することで、化石燃料の代替燃料として利用可能にした再生燃料です。動植物性由来の油分を原料とする、カーボンニュートラルの実現に貢献できる燃料であるとともに、未利用資源の活用により、「産業廃棄物の削減」と「再資源化」の両面を実現した製品です。

### ▶ 3つの公的な評価を頂いています

当社は、「産業廃棄物からリサイクルした環境にやさしい重油代替燃料の開発」について、令和5年度資源循環技術・システム表彰における「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞しました（2023年10月／主催：一般社団法人産業環境管理協会）。

この他にも、環境価値の高さを評価され、「令和3年度北九州エコプレミアム」、「第15回福岡県県産リサイクル製品」として認定されています。

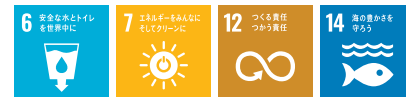


原料となる産業廃棄物

再生燃料「再生油Bio」



令和5年度資源循環技術・システム表彰式・受賞者発表会（2023年10月20日）宗政 寛（当社 代表取締役社長：左）、小林 出様（経済産業省大臣官房審議官（環境問題担当）：右）



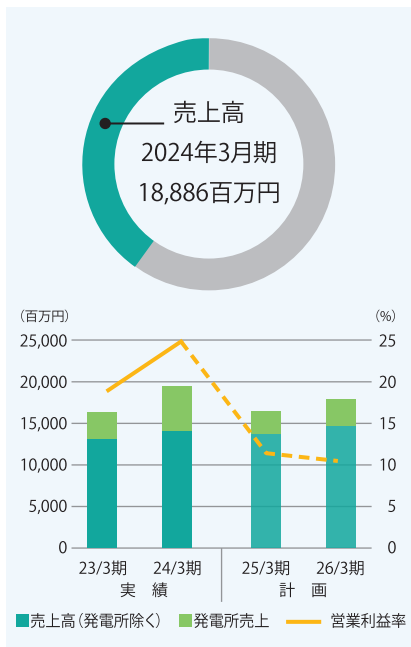
## 資源循環領域の価値創造ストーリー (成長戦略)

事業領域拡大、リサイクル技術高度化・多様化のための戦略投資を実行

- ・廃プラスチック処理におけるマテリアルリサイクル開始、廃液処理における燃料化事業の拡大のための投資
- ・持続的な事業基盤を確立するため、計画的な設備更新投資の継続

### <事業別 中期経営計画>

(単位:百万円)



	2023/3期実績	2024/3期実績	2025/3期計画	2026/3期計画
連結売上高	16,518	18,886	16,221	16,800
プラスチック	10,321	10,468	10,263	10,480
発電所売上	3,122	5,312	2,903	3,130
廃液処理	2,059	2,139	2,335	2,490
埋立処理	1,014	966	718	710
連結営業利益	3,153	4,722	1,863	1,800

- 発電所売上に関して1年目に発電所の売電単価アップにより大きく増収となるが、2・3年目は、売電単価の低下と、本格的な更新工事の開始に伴う稼働日数減少の影響を受け、2026年3月期の売上高は168億円を見込む。
- プラスチック処理については新規案件の受注により徐々に受入量を拡大。
- 廃液処理では2年目より再生油 Bio の増産、3年目より汚泥燃料の販売開始を見込む。
- 全体の営業利益では、発電所の売電単価、稼働状況の影響を受けた推移となる。

### <当社の強みと外部環境>

#### <当社の強み>

- 廃プラスチックのみを燃料とした、特徴的な資源循環型発電モデル(非化石電源)
- 全国15カ所の廃プラスチック中間処理工場網による面での廃プラスチック収集体制
- 実績に裏付けられた高い燃料化・リサイクル処理技術

#### <外部環境>

- サプライチェーン全体における資源循環の要請が高まり、大企業を中心にリサイクル比率の向上に向けた取り組みが拡大
- 地域における適切な資源循環システムの確立が求められる
- 企業のGHG排出量削減、ならびに化石燃料価格の高騰により、廃棄物由来の再生燃料需要が拡大

### 廃棄物・資源循環政策の動向

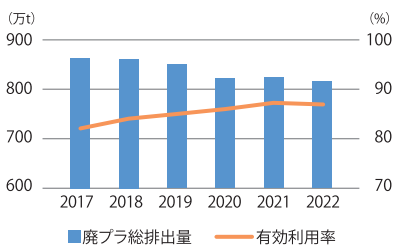
資源を廃棄せずに循環させる循環経済に向けた方針が強化。特にプラスチック資源に関する循環の促進が図られる。

- プラスチック資源循環戦略の策定
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)の施行
  - ✓ 2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等に有効利用
  - ✓ 2030年までに再生利用を倍増

あらゆる主体(製品の設計から排出されたプラスチックの処理まで)におけるプラスチック資源循環の取り組みを促進するための措置が講じられ、排出事業者も積極的に排出の抑制、再資源化への取り組みが求められる。

### 廃プラスチックの排出動向

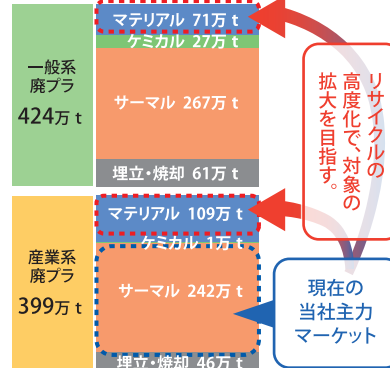
廃プラの排出量は徐々に減少する一方で、有効利用率は上昇傾向(2020年~コロナ影響)。



	2017	2018	2019	2020	2021	2022
廃プラ総排出量(万t)	863	861	850	822	824	823
有効利用率(%)	82	84	85	86	87	87

### マテリアルリサイクルへの取り組み開始

リサイクルの高度化により、市場ニーズへの対応と対象領域の拡大を目指す。



リサイクルの高度化で、対象の拡大を目指す。




現在の当社主力マーケット

※四捨五入の関係で、内訳合計と総数が一致しない場合があります。

※いずれも、『2022年プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況』(一般社団法人プラスチック循環利用協会)をもとに当社加工。

## 廃棄業務一元管理システム「一元くん」シリーズの販売開始

2022年度より提供を開始した「廃棄業務一元管理システム」に、あらたに中間処理事業者向けの商品を追加し、商品名を「一元くんシリーズ」として、販売を開始しました。各種業務の省力化・効率化、「見える化」によるコストの適正化・環境貢献が可能となり、あらゆるシーンに対応するシステムです。ご利用者にはご好評いただいております。さらなるご利用者拡大を図ります。

 <p>排出事業者向け SANIX system改め 「環境エス一元くん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物の回収・処理の流れ、量やリサイクル率など、廃棄物のすべてを「見える化」し、適正で効率的な業務遂行を実現するシステム</li> </ul> <p>2022年4月1日 販売開始 (旧商品名:「SANIX system」)</p>
 <p>収集運搬業者向け SANIX system pro改め 「収運エス一元くん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般廃棄物に関する契約、受付、配車、収集運搬、車両管理、各種集計といった、収集運搬業務を「見える化」し、適正で効率的な業務遂行をサポートするシステム</li> </ul> <p>2023年5月1日 販売開始 (旧商品名:「SANIX system pro」)</p>
 <p>中間処理事業者向け 「産廃エス一元くん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見積書の作成、マニフェスト作成、入金・支払い管理といった、中間処理業務をデジタル化し、適正で効率的な業務遂行をサポートするシステム</li> </ul> <p>2024年5月15日 販売開始</p>

製造業やサービス業をはじめ、さまざま業種の事業者様に導入をいただいております。



※導入先の一部を記載(順不同)

「環境エス一元くん」および「収運エス一元くん」の名称変更は、廃棄物関連の一元管理システムにおけるブランディングを刷新するために、社内公募で案を募り、決定しました。これは、社員の意見を尊重し、社内のコミュニケーションを活性化するための取り組みの一環です。

## ビジネスチャンスの拡大: 展示会への積極的な出展

持続可能な社会づくりが世界共通の課題となる今、産業廃棄物の適正処理・リサイクルは、重要なテーマです。当社グループは、環境関連の展示会に積極的に出展し、廃プラスチックの燃料化リサイクルや、食品工場等から排出される廃液の浄化などの取り組みを紹介しています。同じ思いを持った共創相手を見つけ、事業を通じて一緒に脱炭素社会ならびに資源循環型社会の実現に貢献します。

### 出展に関する情報

2023年

3月

● 脱炭素経営EXPO【春】

5月

● 2023 NEW環境展

10月

● ふくしま再生可能エネルギー産業フェア

11月

● ビジネスマッチング東北2023 メッセナゴヤ2023

● 脱炭素経営EXPO(関西)

12月

● フードテックジャパン

● ぐんま環境フェスティバル

2024年

1月

● 彩の国ビジネスアリーナ2024

2月

● SDGs・ESG支援EXPO春

5月

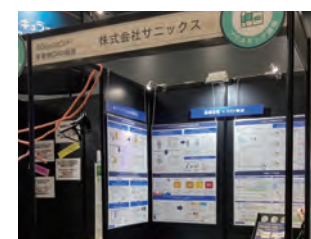
● 2024 NEW環境展



第4回脱炭素 EXPO【春】に出展(3月)



2023年 NEW環境展に出展(5月)



2023年 メッセナゴヤ2023に出展(11月)



第4回フードテックジャパン東京に出展(12月)